

行政事業レビューシート (国土交通省)						
予算事業名	河川環境における地球温暖化モニタリング強化に係る検討経費		事業開始年度	平成21年度		作成責任者
担当部局庁	河川局		担当課室	河川環境課		課長 中嶋 章雅
会計区分	一般会計		上位政策	良好な水環境・水辺空間の形成・水と緑のネットワークの形成、適正な汚水処理の確保、下水道資源の循環を推進する		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	河川法第1条		関係する計画、通知等	水災害分野における地球温暖化に伴う気候変化への適応策のあり方について(答申) (平成20年6月 社会資本整備審議会)		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地球温暖化等による河川の水温、水質への影響を長期的な観点で効率的にモニタリングする手法や適応策に関する検討を行い、河川環境への悪影響に対応することを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	地球温暖化等による河川環境の変化に関する既往知見の収集や、水温、水質等の経年変化について傾向分析を行う。また、実際の河川で調査を行い、効率的に河川環境の変化をモニタリングするための調査内容について検討する。併せて、地球温暖化等への適応策に関する検討を行う。					
実施状況	平成21年度は、学術論文等の既往知見の収集、過去30年程度の水質等のデータに基づく水温・水質の経年変化傾向の分析により、地球温暖化等による河川水質変化の知見及びメカニズムを整理した。また、水質自動監視装置の設置状況やモニタリング上の課題を整理するため、2河川で現地調査を行った。これらの結果を踏まえて、効率的に河川環境の変化をモニタリングするための調査地点、項目、精度について課題の整理等を行った。さらに、地球温暖化等への適応策に関する基礎調査として、国内外の事例を収集・整理した。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	-	-	16	13	
	執行額	-	-	16		
	執行率	-	-	98.1%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	-		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	・打ち合わせ協議により全体計画、業務の進捗状況等の把握を行い、適正に業務が遂行されているか確認を行っている。 ・業務の主たる部分に係る再委託は禁止されており、主たる部分以外の再委託については、軽微なもの(コピー、印刷、製本、資料の収集・単純な集計、速記録の作成、翻訳等)を除き再委託承諾申請書を提出させることになっており、打ち合わせ協議により、再委託の有無や内容について確認を行っている。				
	見直しの余地	これまでの実施状況を踏まえて、調査事項のさらなる精査などを行い、限られた予算の中でより効率的な検討とする。				
予算監視の効率化						
補記	<b>【予算科目】</b> ・071 水環境対策費 ・05-95 良好な水環境の形成等の推進に必要な経費 (21年度予算額) (21年度決算見込額) ・95016-2122-08 職員旅費 0百万円 0百万円 ・95016-2123-09 水環境対策調査費 16百万円 16百万円					

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

国土交通省  
16百万円

職員旅費  
0百万円

- ・地球温暖化等と河川水質の関係に係る情報収集
- ・地球温暖化等による河川環境の変化をモニタリングする手法、適応策に係る企画・立案等



【全国競争】

A. (財)河川環境管理財団  
16百万円

- ・地球温暖化等による河川水質の変化に係る知見及びメカニズムの整理
- ・効率的に河川環境の変化をモニタリングするための調査内容の検討
- ・地球温暖化等による影響への適応策の検討

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の金  
 額が支出されて  
 いる者について  
 記載する。使途  
 と費目の双方で  
 実情が分かるよ  
 うに記載)

A. (財)河川環境管理財団			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	河川環境における地球温暖化等 モニタリング強化に係る検討業務	16			
計		16	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0